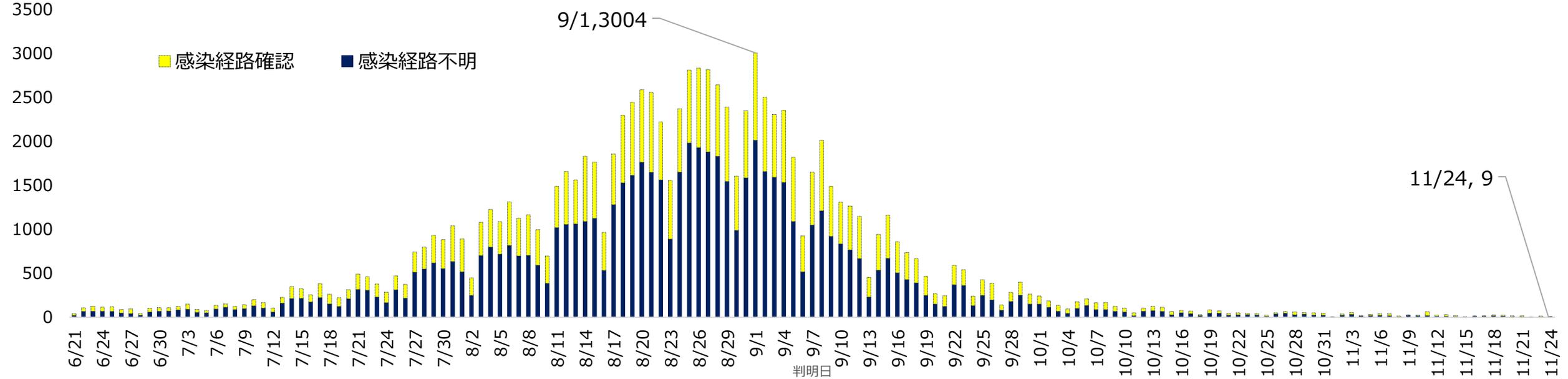


- 1 陽性者数等の推移 P2~8
- 2 年代・居住地・感染経路等 P9~14
- 3 感染・療養状況とワクチンの接種状況 P15~24

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移



6月21日～緊急事態措置解除・まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域(33市)時短要請(20時まで)
重点措置対象区域外(10町村)時短要請(21時まで)
※酒類提供は原則自粛。
ただし、ゴールドステッカー認証店舗等で、同一グループの来店を原則2人以内は提供可能(11時～19時)
※区域外は20時
カラオケ設備の利用自粛等

8月2日 緊急事態措置適用(9月30日まで)
不要不急の外出自粛要請 飲食店・一部施設への休業要請等

8月20日 適切な入場整理等の再要請(百貨店地下食品売り場は通常営業時の半数程度の入場者を目安)

8月25日 府立学校への部活動原則休止(市町村立学校・私立学校等へは休止を要請)

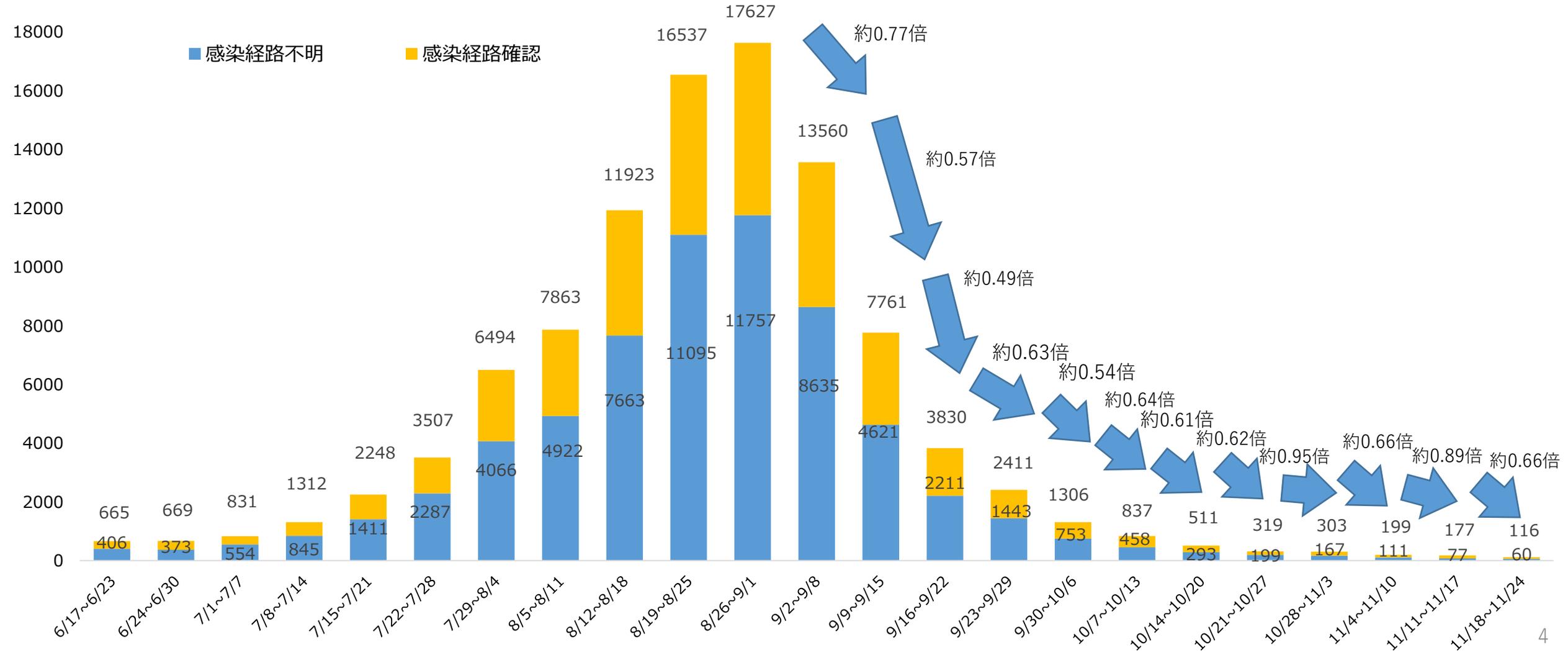
10月1日 緊急事態宣言解除
※ゴールドステッカー認証店舗では21時までの時短営業(酒類提供は11時から20時半まで)
ゴールドステッカー未認証店舗では20時までの時短営業(酒類提供は自粛)
いずれの店舗でも、同一グループ・テーブルは4人以下かつカラオケ設備の利用自粛等

10月25日
会食を行う際の4人以内の徹底(同一テーブル4人以内・2時間程度以内での飲食、ゴールドステッカー認証店舗利用・マスク会食)など

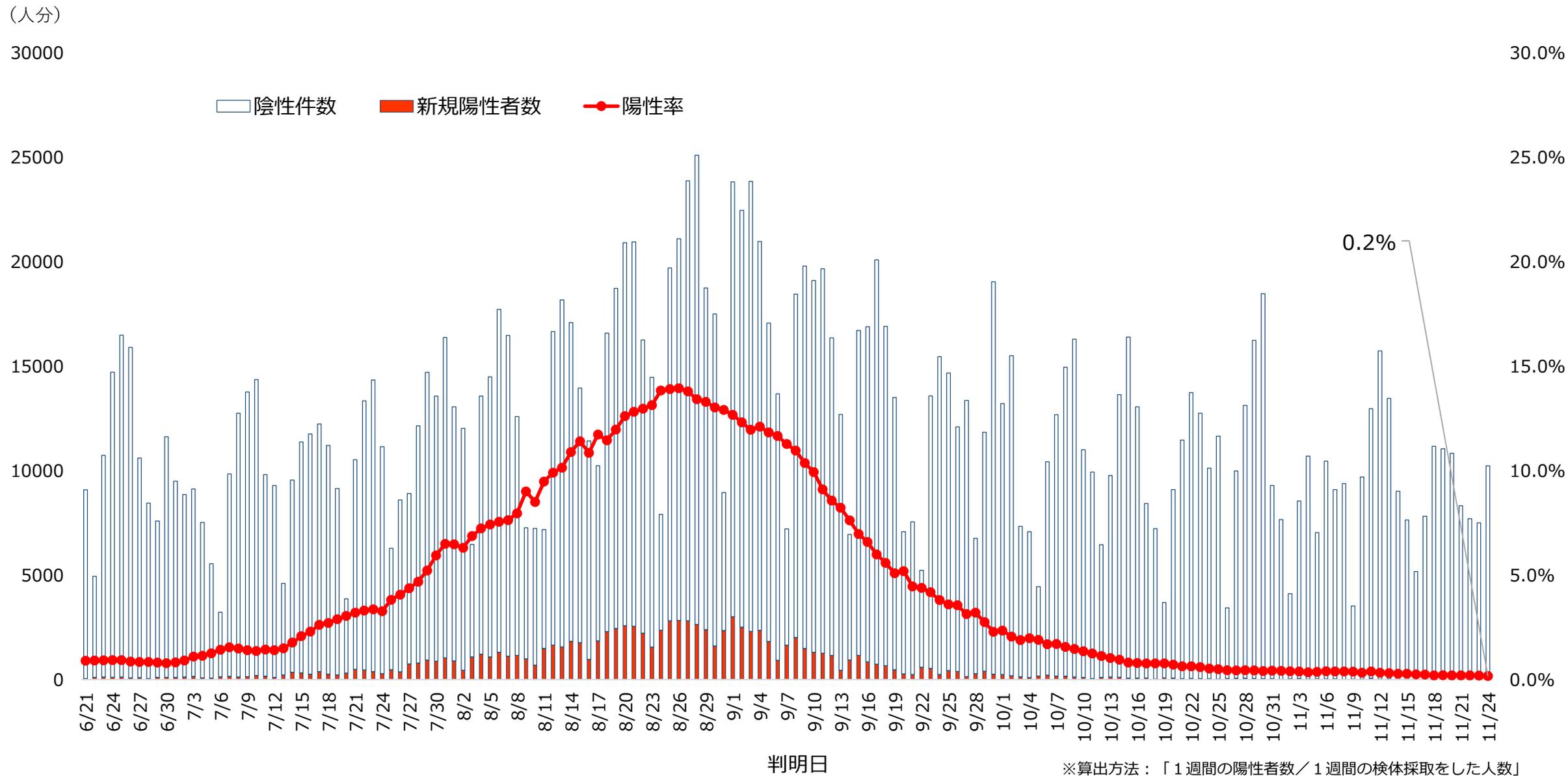
11月8日 水際措置の見直し(ワクチン接種者自宅待機10日を3日+行動管理7日に変更、外国人の新規入国制限見直し)

7日間毎の新規陽性者数

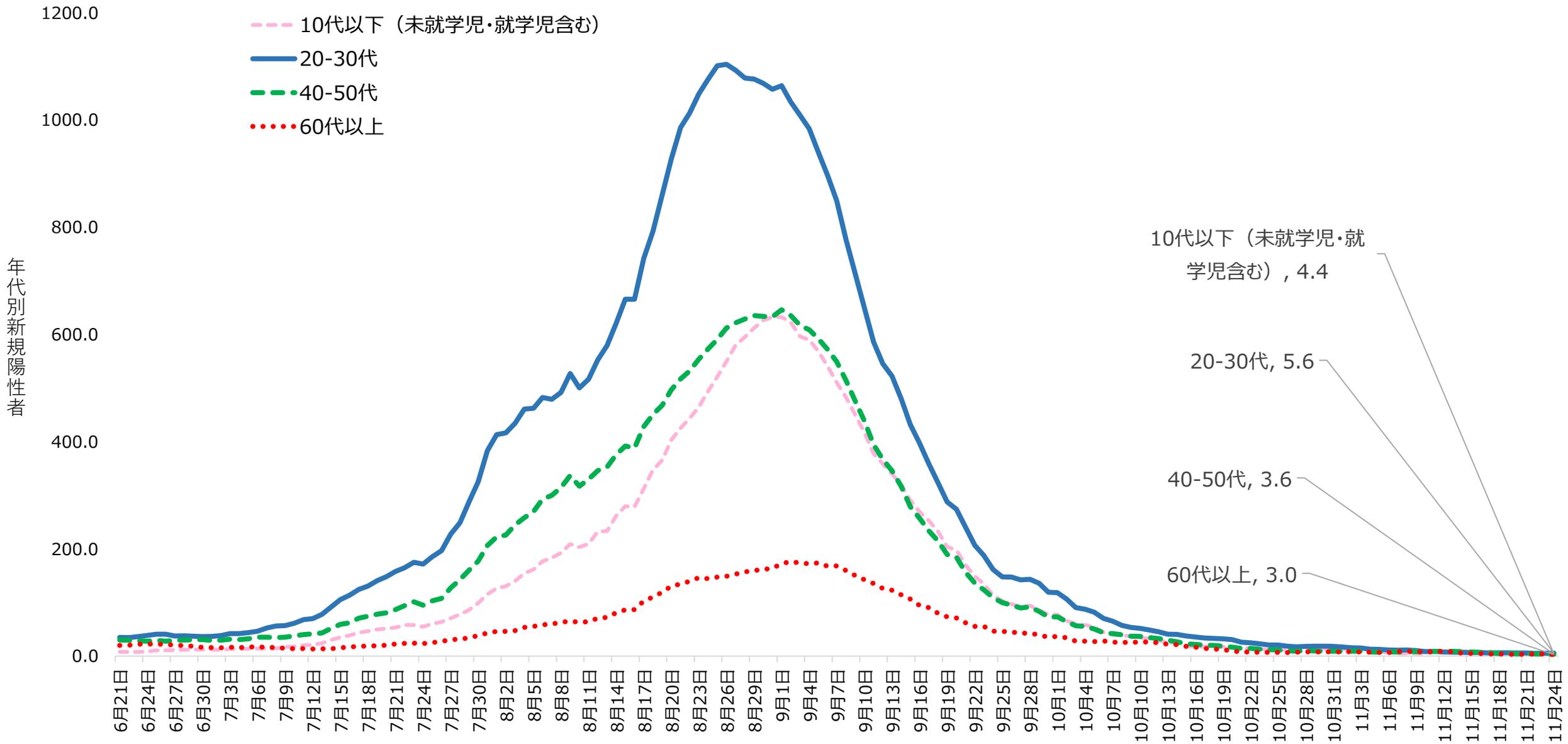
◆ 新規陽性者数は、12週間にわたり、減少。



検査件数と陽性率



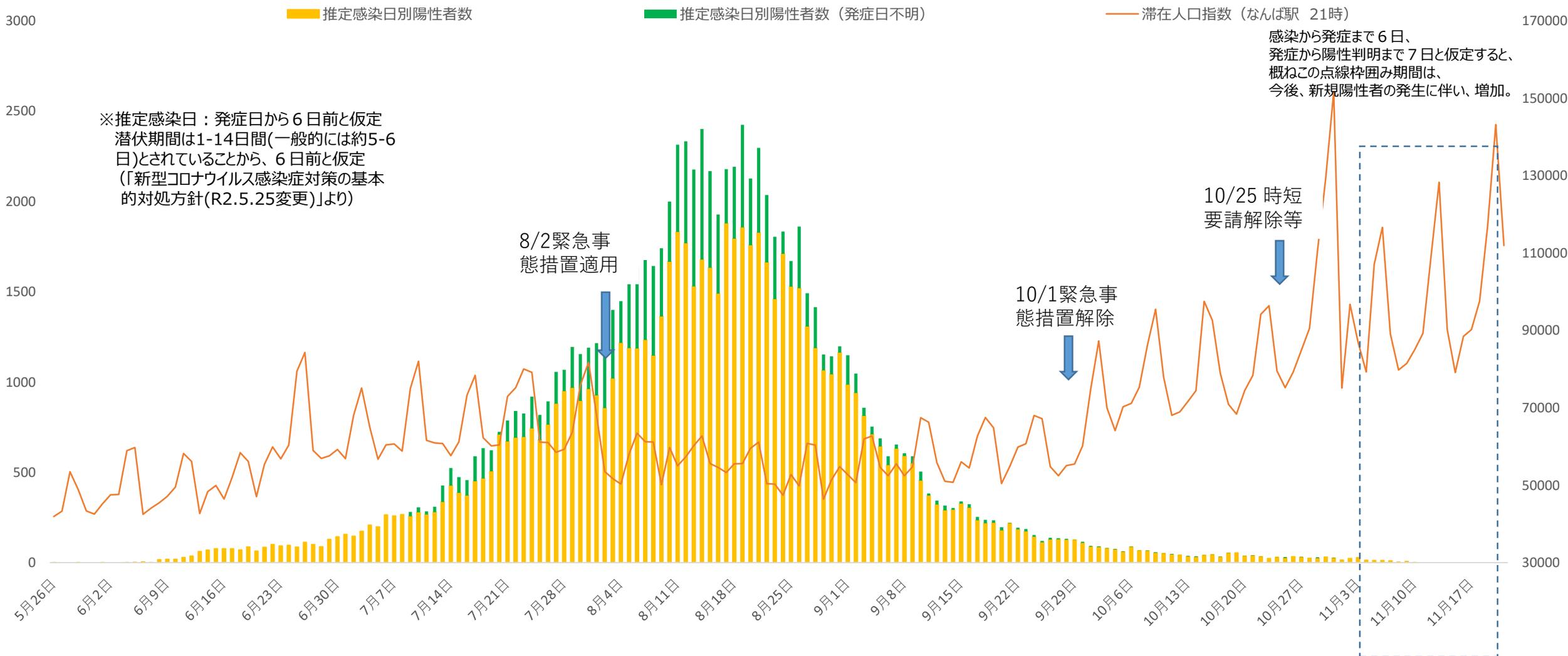
年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）



推定感染日別陽性者数と人流（夜間）（11月17日時点）

◆ 夜間滞在人口は緊急事態措置解除により拡大しているが、推定感染日別陽性者数は現時点増加していない。

（6月21日以降11月17日までの判明日分）（N=89,138名（調査中、無症状11,361名を除く））



※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出（陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6以降）
 人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

区分	モニタリング指標		警戒の目安	非常事態の 目安	非常事態解 除の目安	警戒解除の 目安	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	現在の状況
感染状況	分科会 指標	①直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	15人以上 (約189人/ 日)	25人以上 (約315人/ 日)	—	—	1.60	1.60	1.45	1.45	1.42	1.42	1.32	減少
医療提供 体制	分科会 指標	②病床使用率 重症・軽症中等症ともに確保病床数を 分母として算出	20%以上	50%以上	7日間連続 50%未満	7日間連続 20%未満	2.7%	2.8%	2.6%	2.8%	2.9%	2.2%	2.2%	2%強で推移
	独自指標	③重症病床使用率 一般医療と両立可能な病床数を分母と して算出	20%以上	60%以上	7日間連続 60%未満	7日間連続 20%未満	3.1% (1.7%)	3.1% (1.7%)	2.7% (1.5%)	2.7% (1.5%)	2.7% (1.5%)	2.4% (1.3%)	2.4% (1.3%)	2%強で推移

【参考指標】

医療提供 体制等	①軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	2.9%	3.0%	2.8%	3.0%	3.2%	2.3%	2.4%	2%強で推移
	②宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%前後で推移

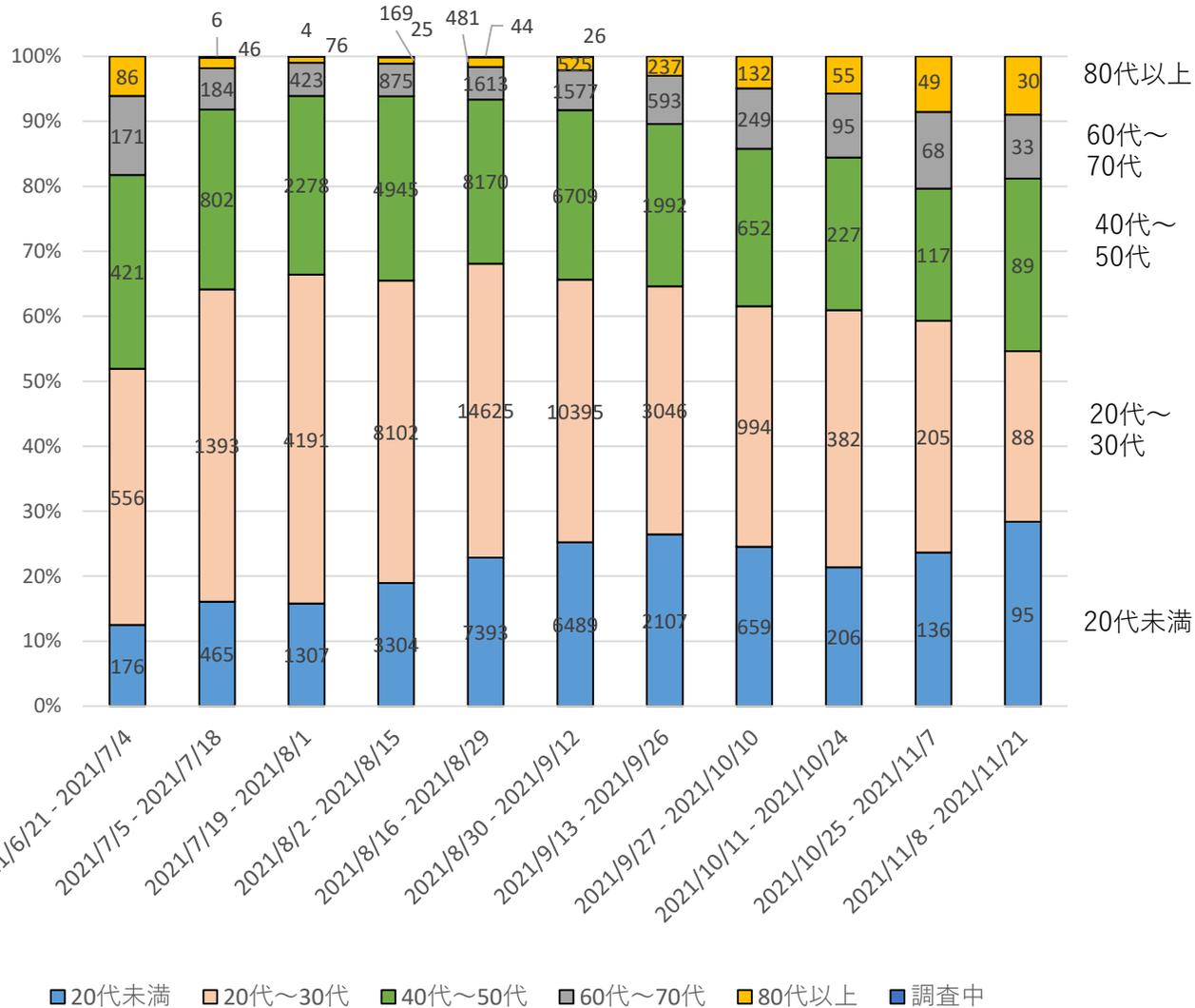
・括弧内は、確保病床数を分母として算出

2 年代・居住地・感染経路等

陽性者の年齢区分

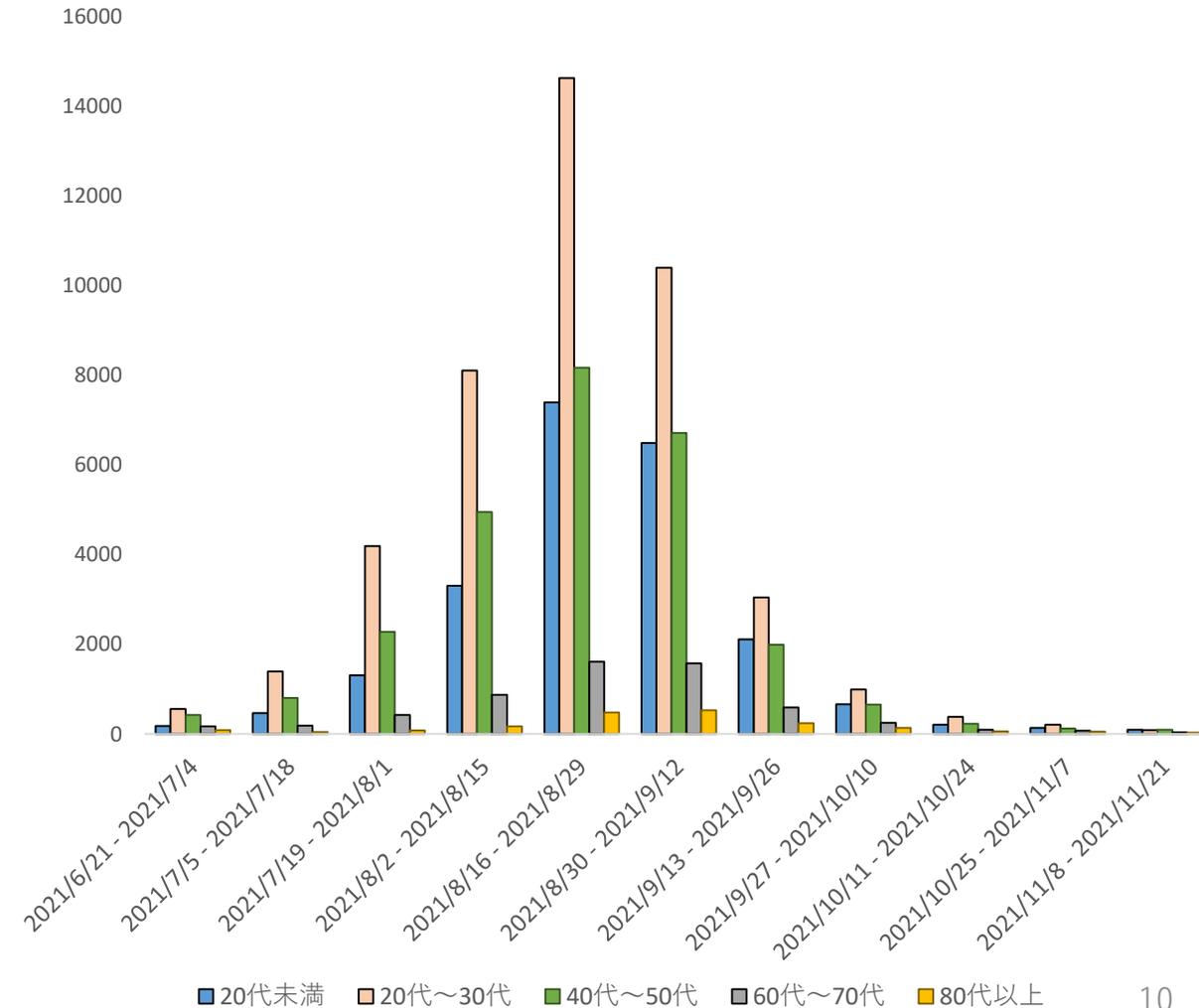
◆ 40代未満が減少し、60代以上の割合が2割程度（60代以上のワクチン接種が本格的に進む前の同程度の水準）。

陽性者の年齢区分（割合, 2週間単位）



（6月21日以降11月21日までに判明した100,588事例の状況）

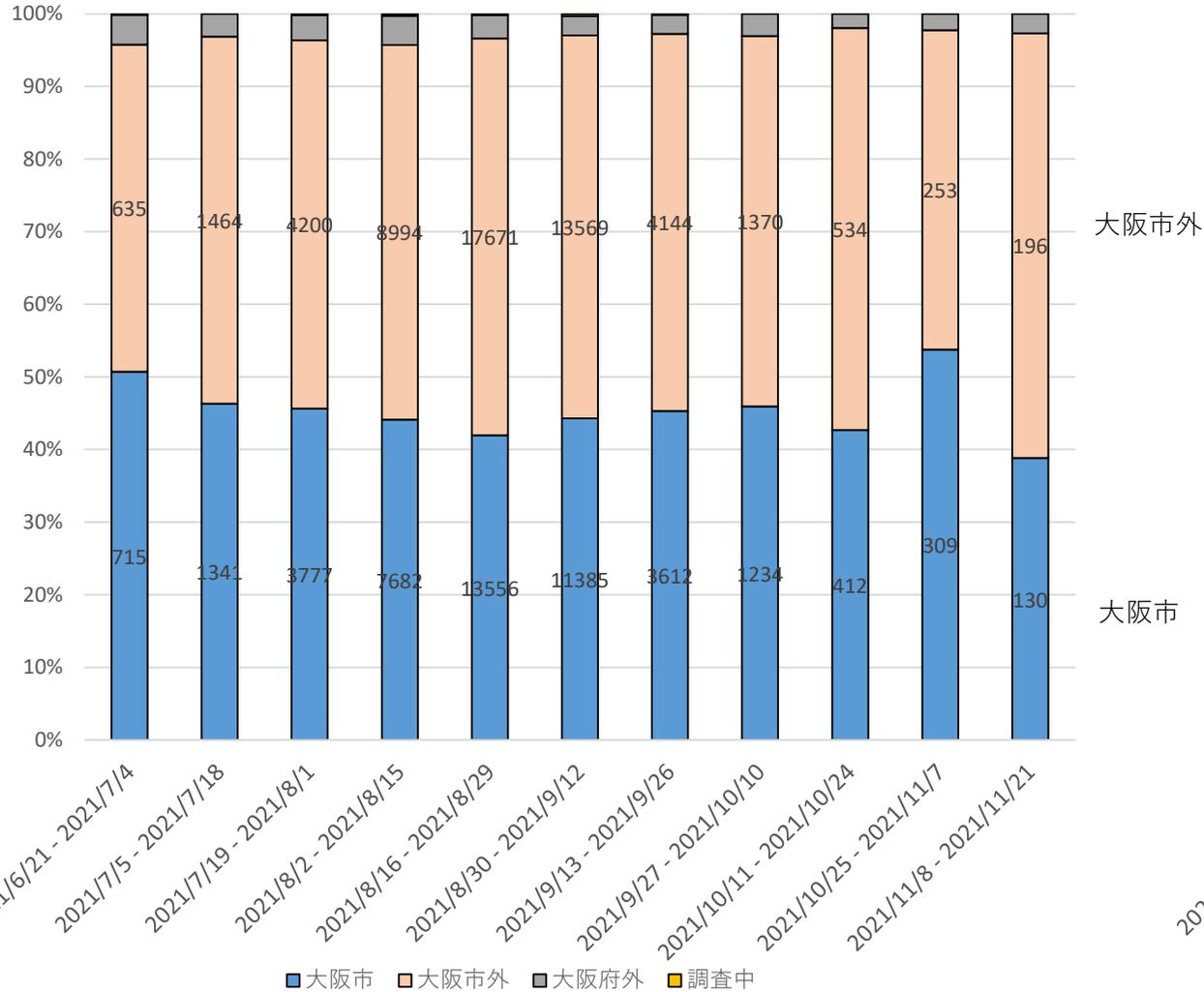
陽性者の年齢区分（実数, 2週間単位）



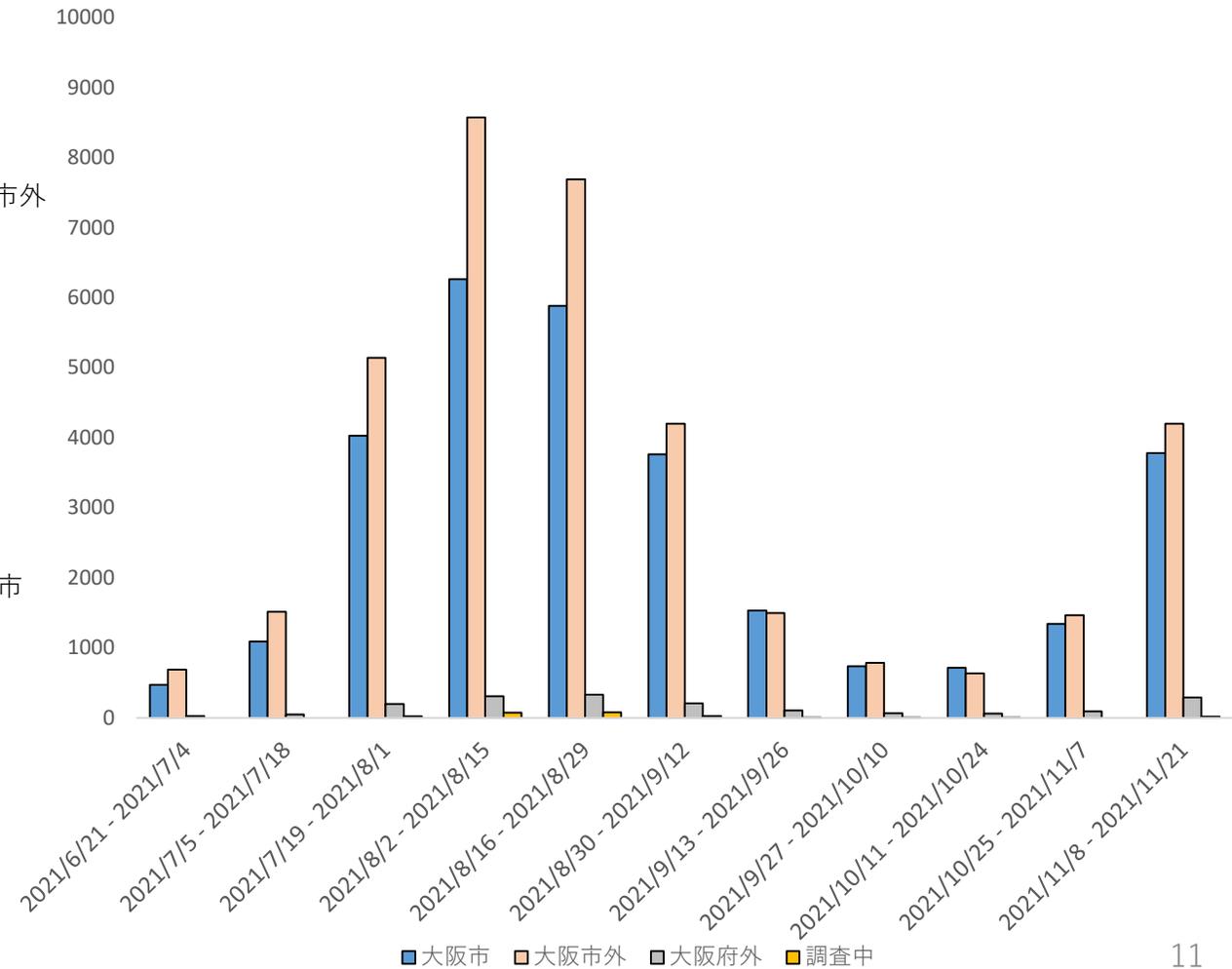
陽性者の居住地

◆ 大阪市内居住者が4割、市外が6割弱。

陽性者の居住地区分（割合、2週間単位）



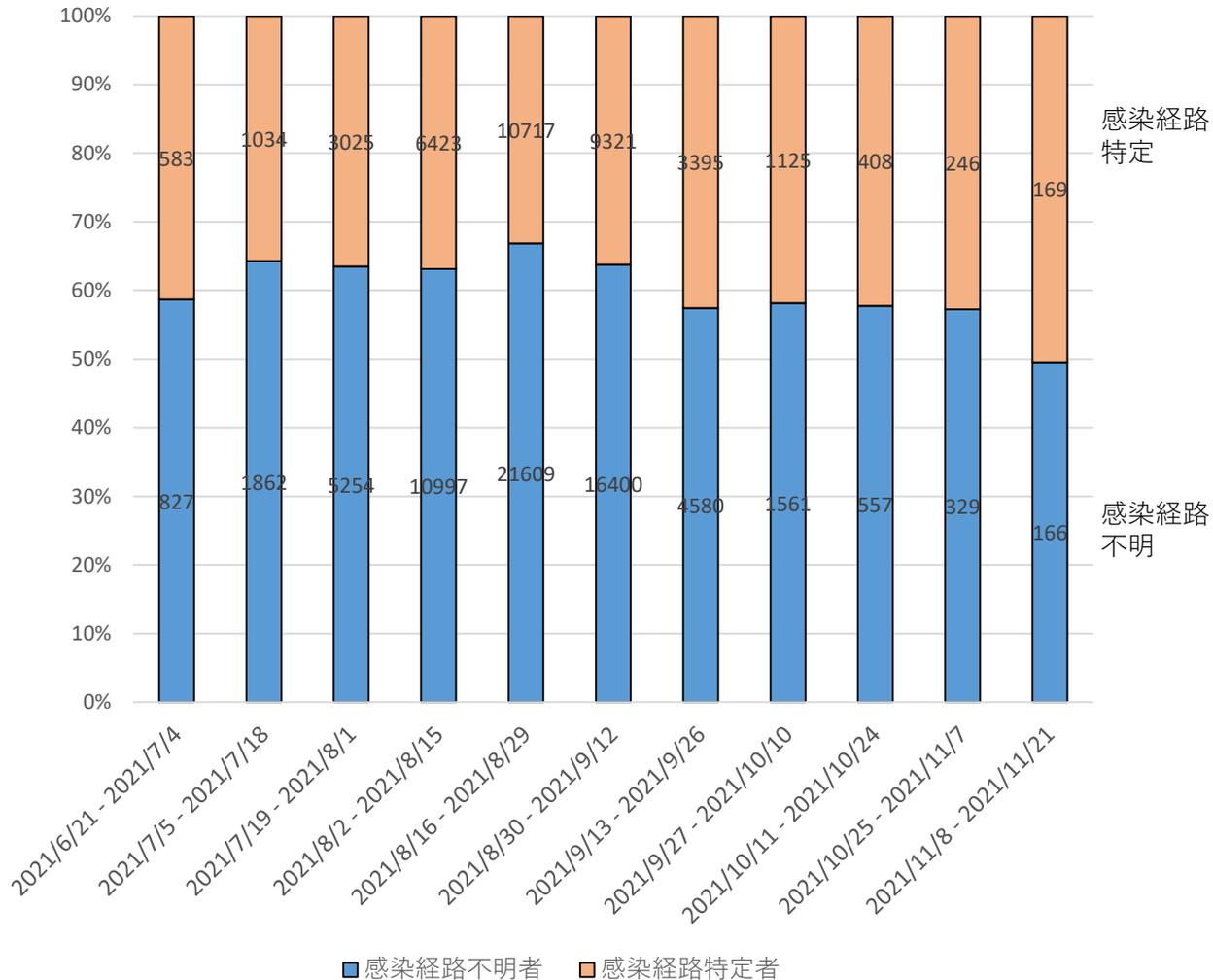
(6月21日以降11月21日までに判明した100,588事例の状況)
陽性者の居住地区分（実数、2週間単位）



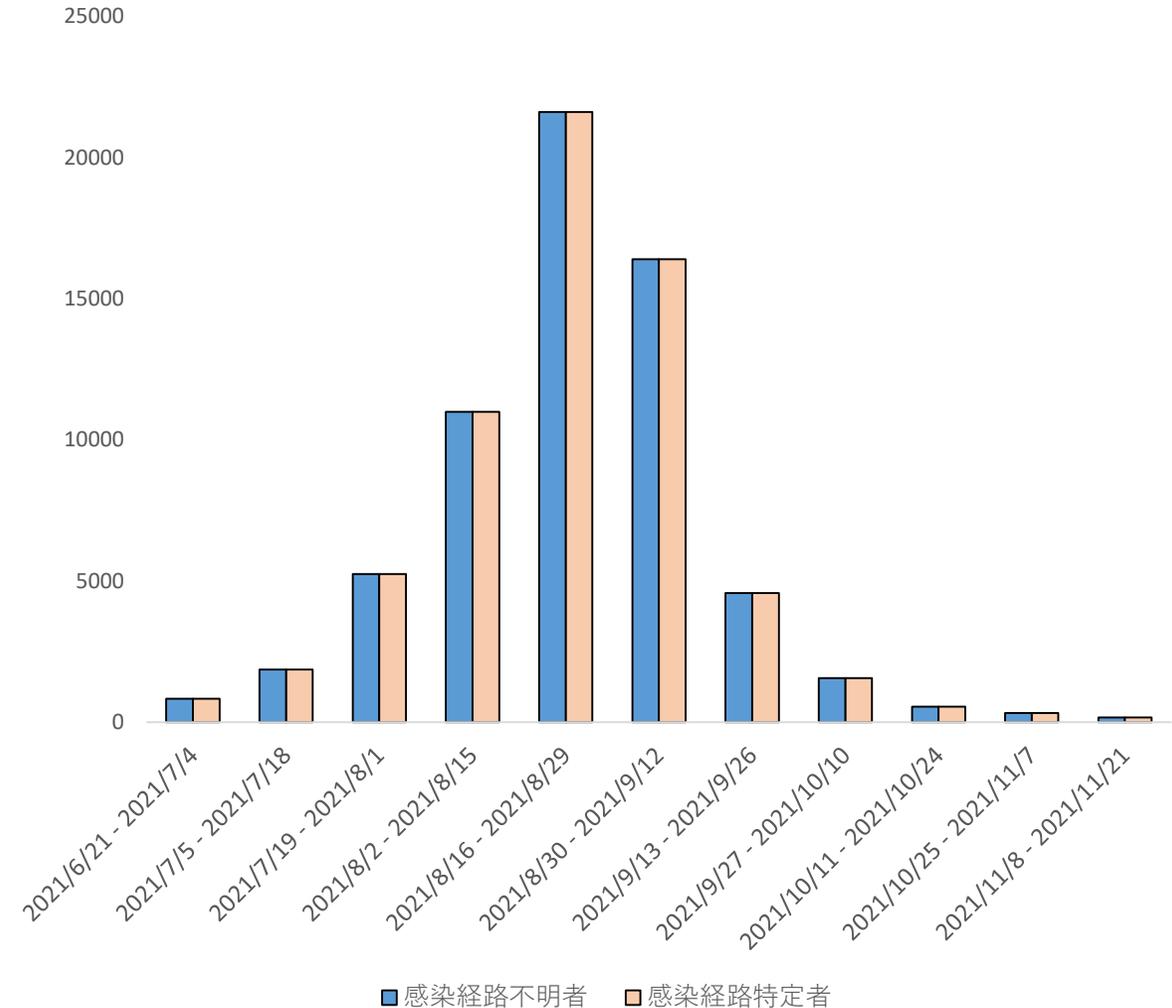
陽性者の感染経路の状況

◆ 感染経路不明の割合は、直近2週間では5割と減少傾向。

感染経路の状況（割合）



(6月21日以降11月21日までに判明した100,588事例の状況)
感染経路の状況（実数）

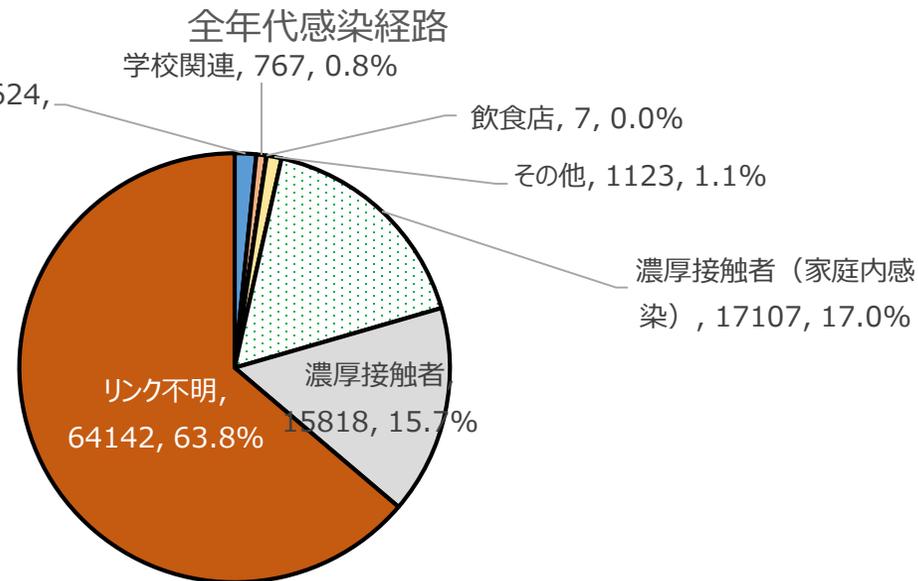
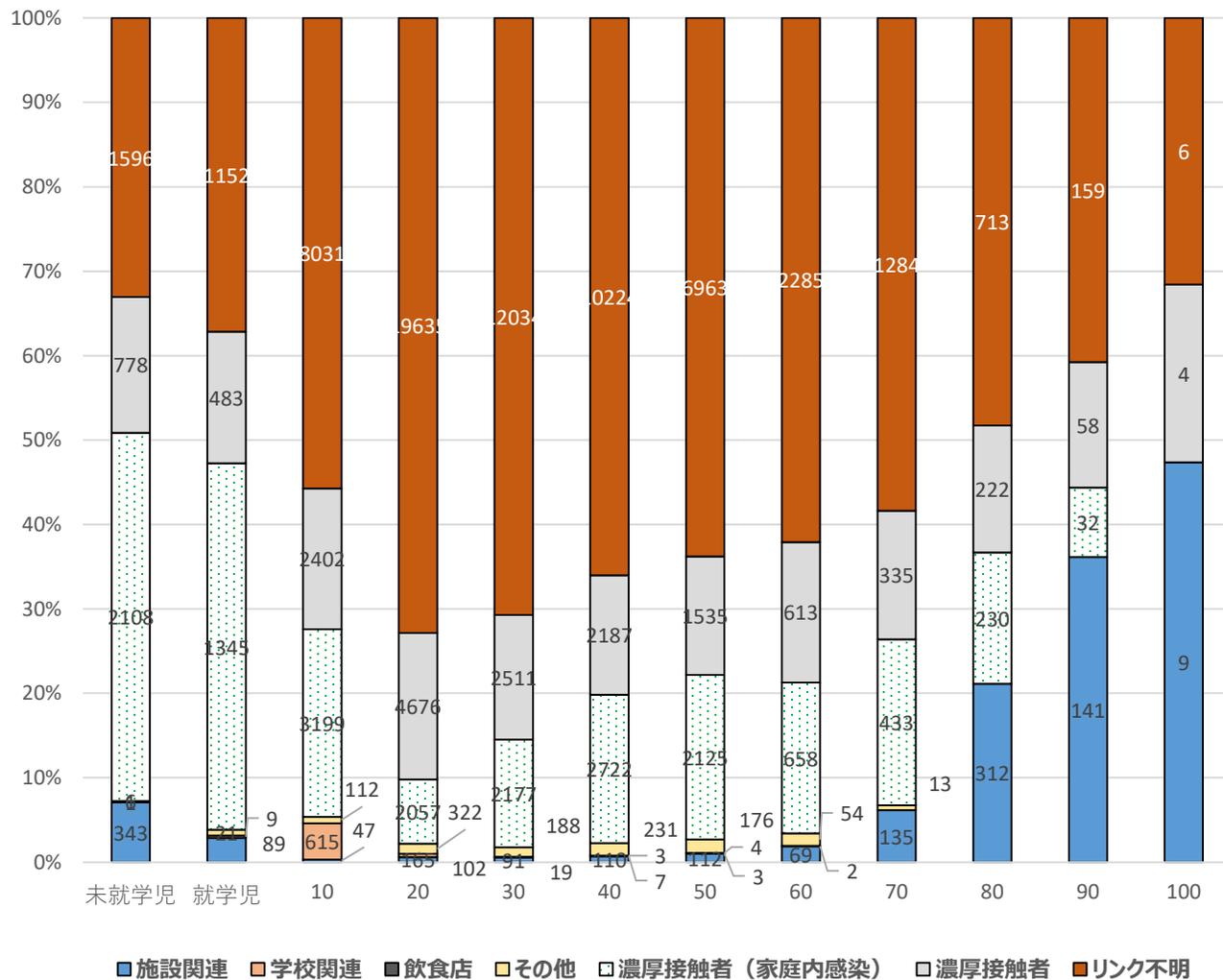


感染経路

◆ 第五波の新規陽性者の感染経路は、施設関連が減少し、リンク不明が増加。

(6月21日以降11月21日までに判明した100,588事例の状況)

年代別感染経路

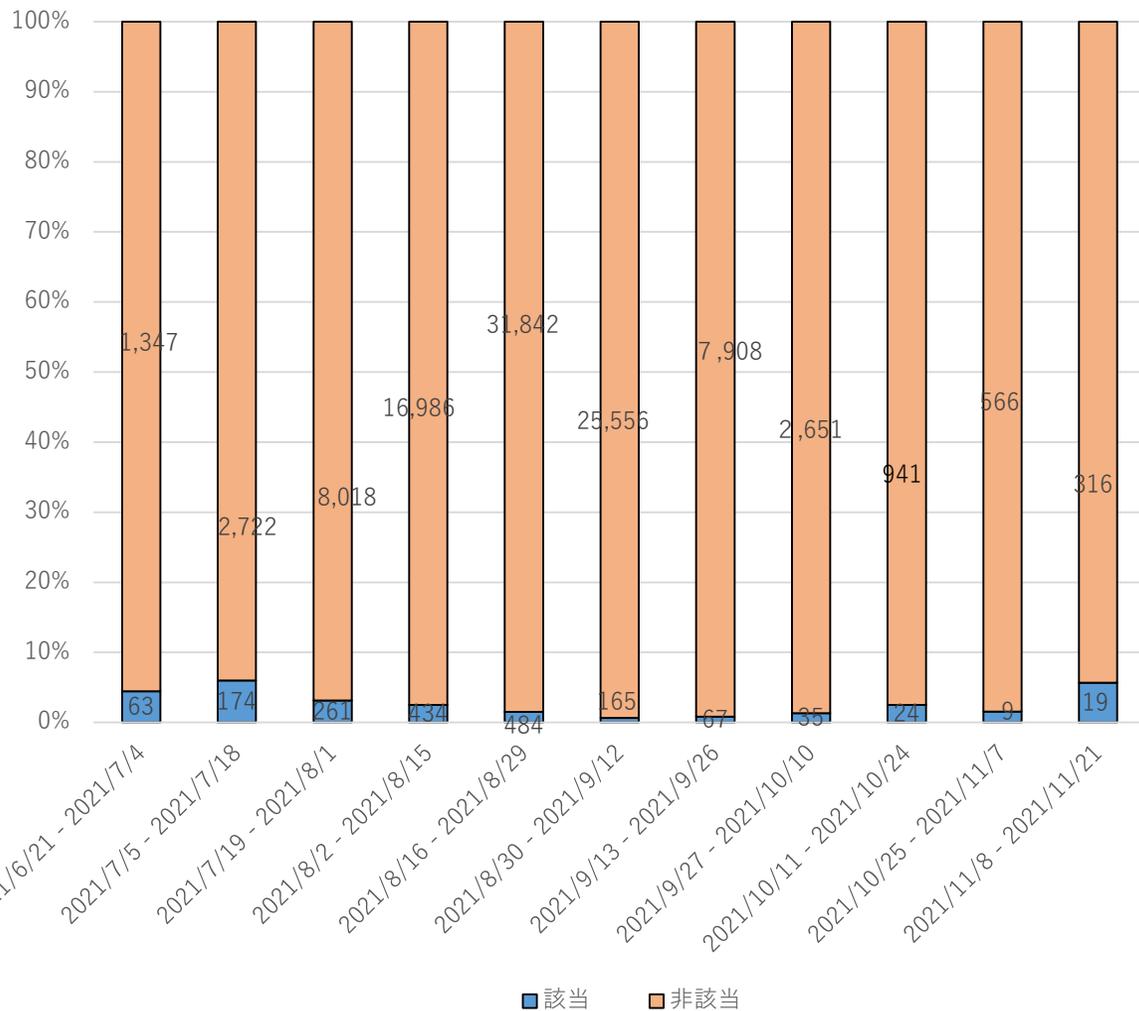


時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第一波	15.9%	0.2%	0.0%	5.3%	12.2%	16.2%	50.2%
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波	6.0%	0.5%	0.0%	1.0%	16.4%	16.7%	59.3%
第五波	1.6%	0.8%	0.0%	1.1%	17.0%	15.7%	63.8%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

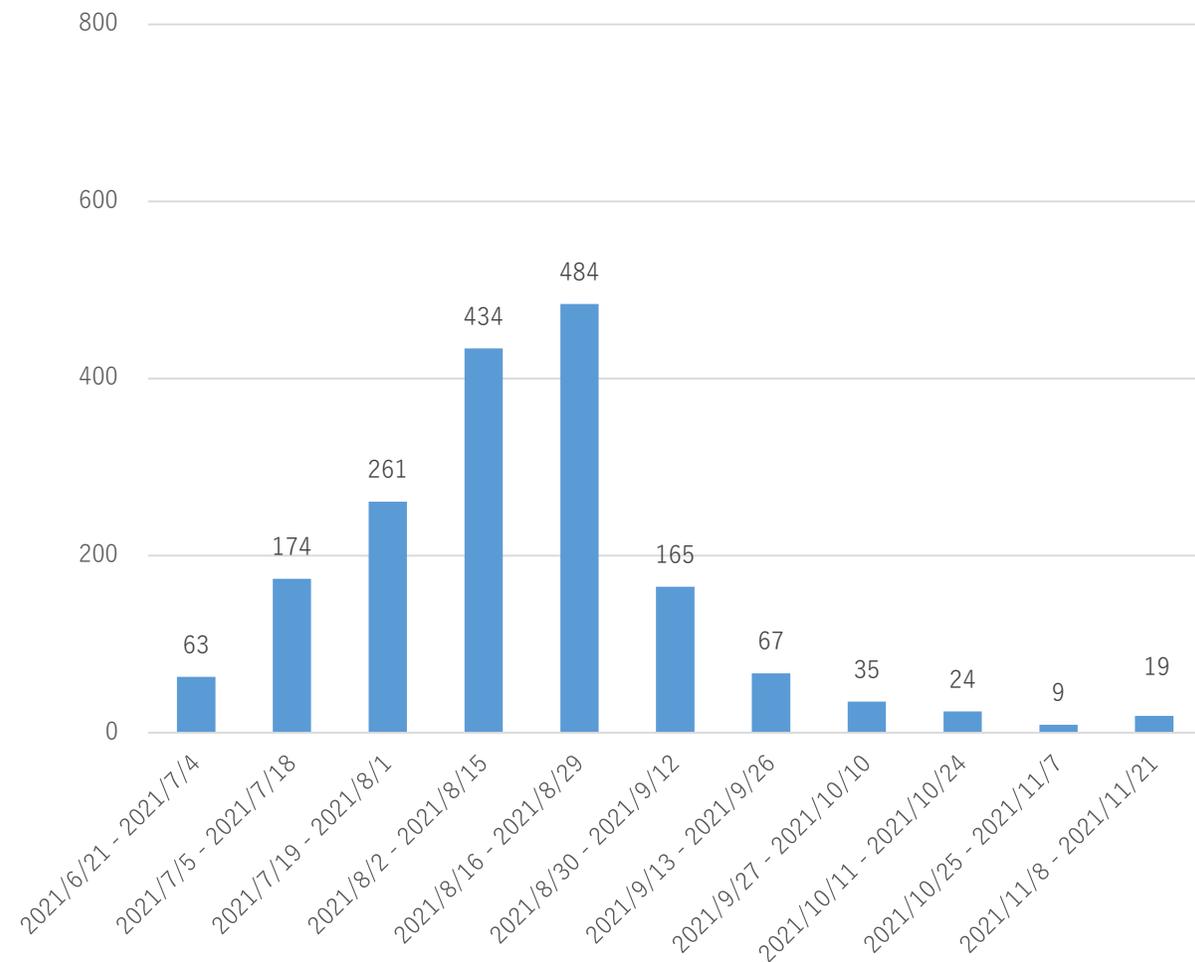
◆ 夜の街の関係者及び滞在者の人数は、それ以前と比べ、直近2週間はやや増加。

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



（6月21日以降11月21日までに判明した100,588事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

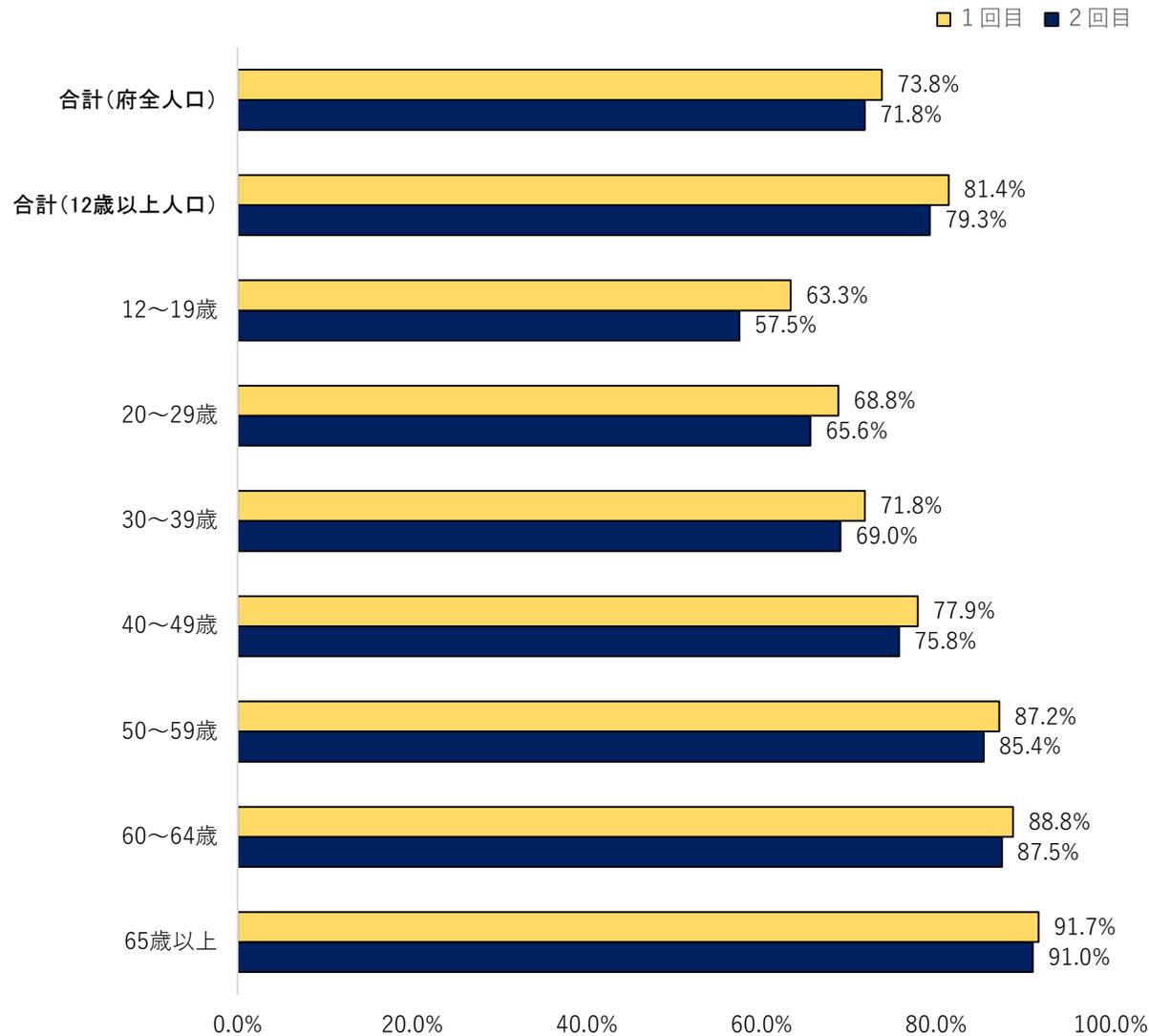


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

3 感染・療養状況と ワクチンの接種状況

年齢別ワクチン接種率（11月21日時点）

◆ 12歳以上の人口に占める2回ワクチン接種済の割合は、約8割。



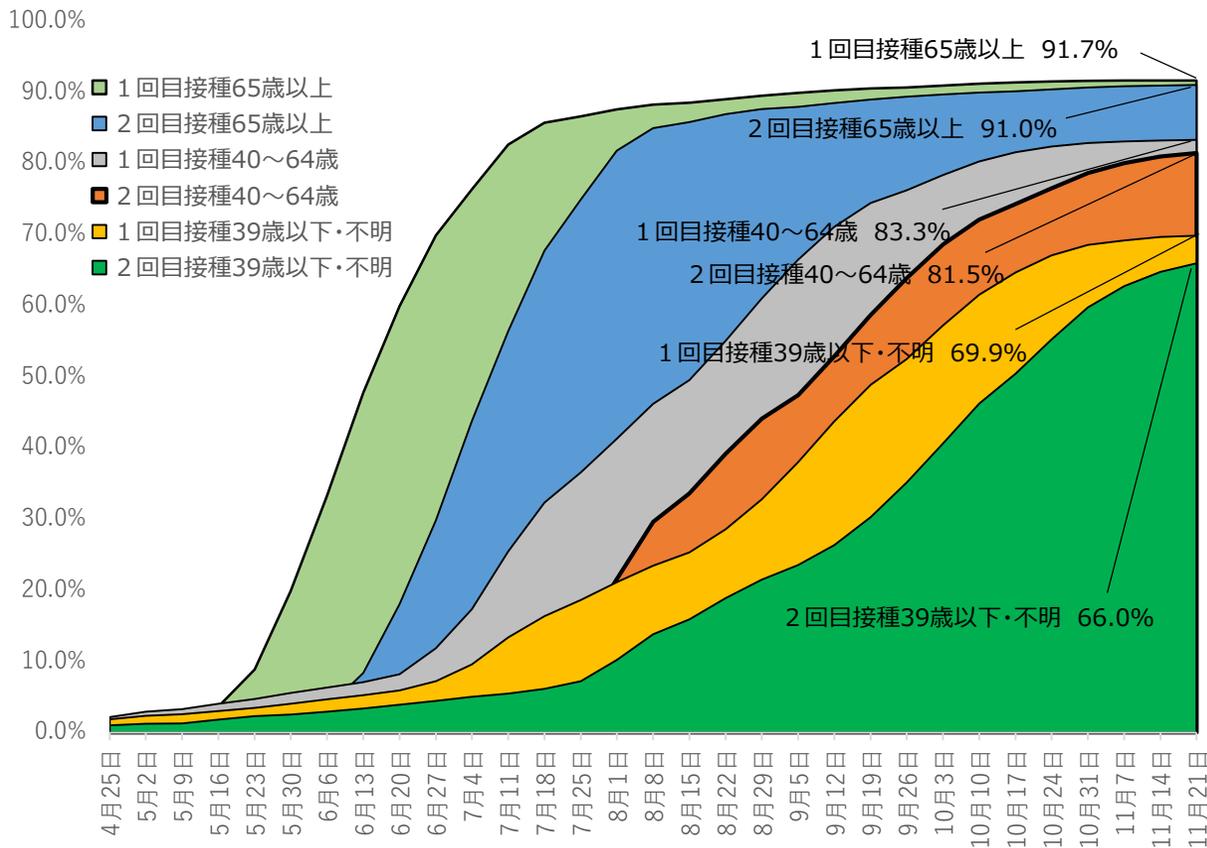
年齢	人口	2回接種済み	1回のみ接種	未接種
		人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
全年齢	8,839,511	6,348,285 71.8%	173,296 2.0%	2,317,930 26.2%
12歳以上全年齢	8,008,458	6,348,285 79.3%	173,296 2.2%	1,486,877 18.6%
12～19歳	627,731	360,766 57.5%	36,771 5.9%	230,194 36.7%
20～29歳	979,470	642,330 65.6%	31,552 3.2%	305,588 31.2%
30～39歳	1,014,384	700,187 69.0%	28,500 2.8%	285,697 28.2%
40～49歳	1,322,085	1,001,609 75.8%	27,993 2.1%	292,483 22.1%
50～59歳	1,219,649	1,042,118 85.4%	21,579 1.8%	155,952 12.8%
60～64歳	459,527	402,215 87.5%	5,854 1.3%	51,458 11.2%
65歳以上	2,385,612	2,172,080 91.0%	15,843 0.7%	197,689 8.3%

※ワクチン接種率（状況）：11月22日にVRSダッシュボードよりダウンロードした数値

年齢別ワクチン接種率及び新規陽性者数

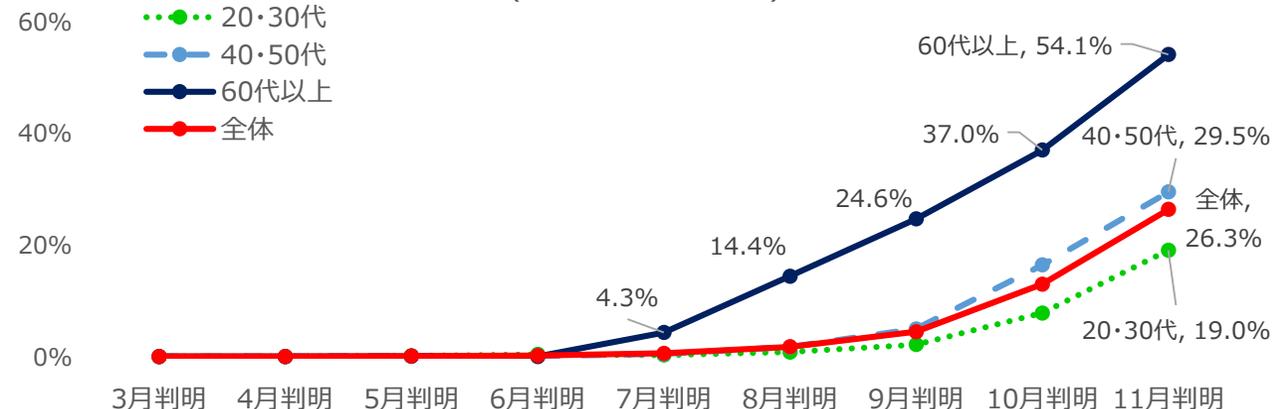
- ◆ 11月(11/1~11/14まで)に判明した新規陽性者のうち、2回接種後14日以降に陽性となった者は114名(26.3%)。
- ◆ 60代以上新規陽性者のうち、2回接種後14日以降に陽性となった者が54.1%。
- ◆ ワクチン接種が進むことで、2回接種後14日以降の陽性者数が増加している可能性がある。

【ワクチン接種状況】



※府民全体のワクチン接種率(状況)：11月22日にVRSダッシュボードよりダウンロードした数値
 ※一般接種及び医療従事者向け優先接種の実績に基づく
 ※39歳以下・不明の接種率は、接種対象の12歳以上の人口で算出

新規陽性者における2回接種後14日以降に発症した者の割合の推移(判明月別)
 (11月14日判明時点)



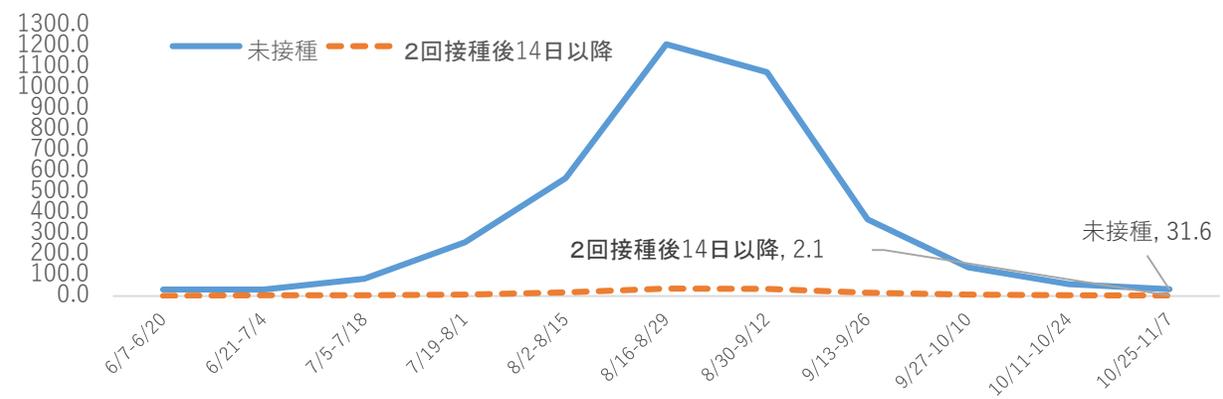
11月判明	新規陽性者数	2回接種後14日以降発症		接種なし・不明		その他 (1回接種済または2回接種後14日未満や発症日等不明)	
		陽性者数	割合	陽性者数	割合	陽性者数	割合
20・30代	126	24	19.0%	76	60.3%	26	20.6%
40・50代	112	33	29.5%	59	52.7%	20	17.9%
60代以上	98	53	54.1%	26	26.5%	19	19.4%
総計	433	114	26.3%	248	57.3%	71	16.4%

※陽性者のワクチン接種状況及び発症日は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく(11月14日判明時点)
 ※無症状病原体保有者は報道提供日-1日を発症日とした。

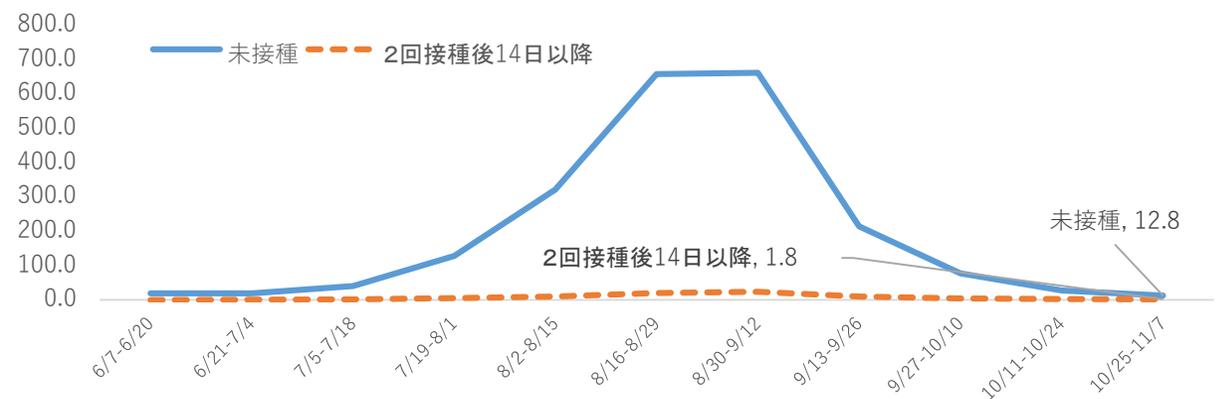
ワクチン接種歴別のワクチン接種人口当たりの新規陽性者数（10万人対）

◆ 各年代ともに、ワクチン未接種者における新規陽性者数と比べ、ワクチン接種者における新規陽性者数は少ない。ただし、2回接種後14日以降に陽性となった者（無症状病原体保有者を含む）が確認されていることから、ワクチン接種後も感染予防対策の徹底が必要。

39歳以下（年齢不明含む）



40～64歳



65歳以上



※府民全体のワクチン接種率（状況）：11月22日にVRSダッシュボードよりダウンロードした数値
 ※陽性者のワクチン接種状況及び発症日は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（11月14日判明時点）
 ※無症状病原体保有者は報道提供日-1日を発症日とした。

【算出方法】

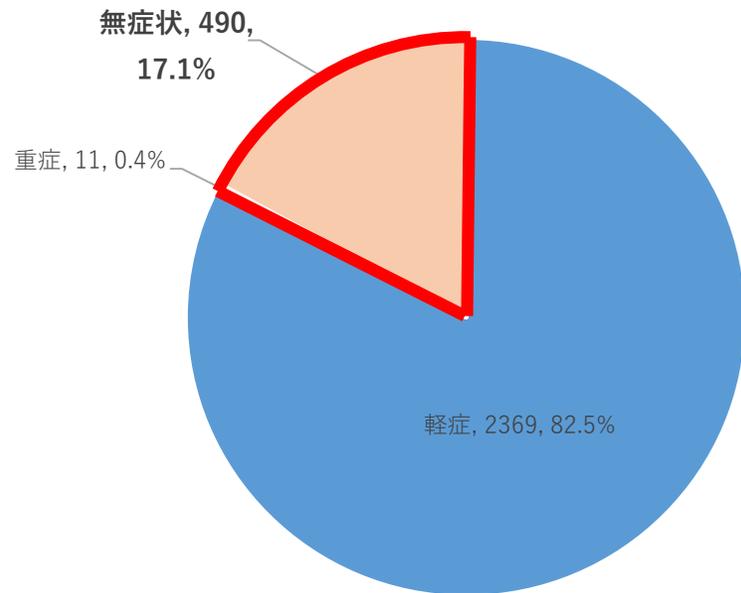
未接種：（各期間の新規陽性者数（ワクチン未接種）÷当該期間最終日の累計ワクチン未接種者数） × 10万
 2回接種後14日以降：（各期間の新規陽性者数（ワクチン2回接種後14日以降）÷当該期間最終日の累計ワクチン2回接種後14日以降の人数） × 10万

ワクチン接種歴別の陽性判明時症状（11月14日判明時点）

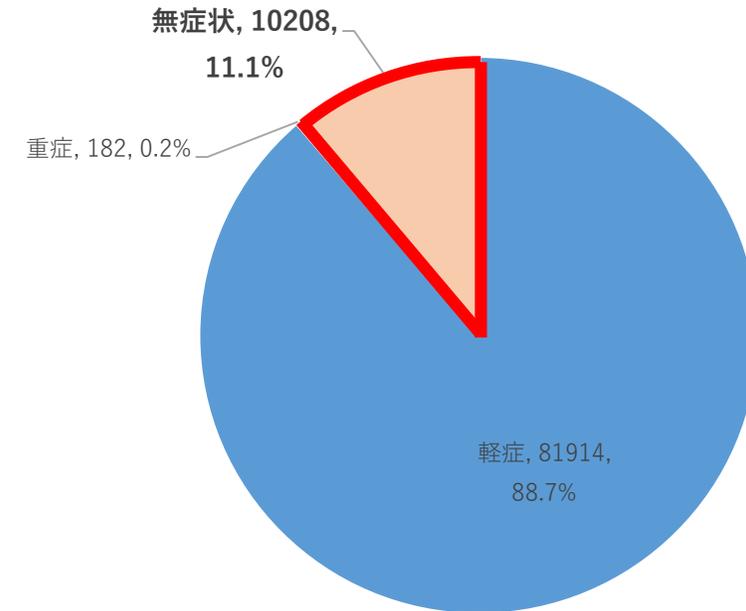
◆ ワクチン2回接種後14日以降に陽性となった者における無症状病原体保有者（陽性判明時）の割合は、ワクチン未接種者における同割合より高い。

ワクチンには発症・重症化予防効果が期待されるが、症状に気づかないままに周囲に感染させる可能性もあることから、ワクチン接種後も感染予防対策が必要。

ワクチン2回接種後14日以降（6月1日から11月14日）



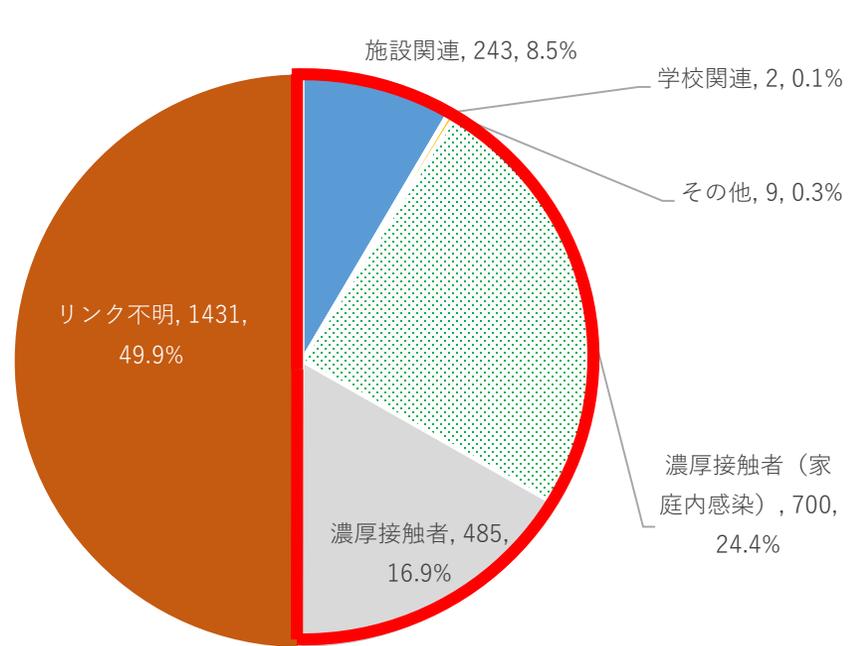
ワクチン未接種（6月1日から11月14日）※症状不明事例除く



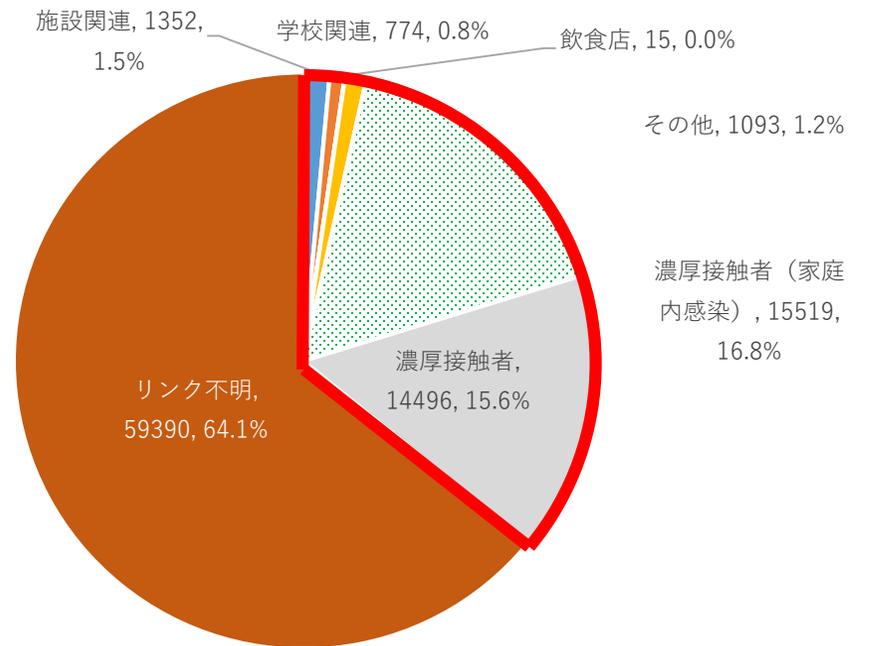
ワクチン接種歴別の感染経路（11月14日判明時点）

◆ ワクチン2回接種後14日以降に陽性となった者は、未接種者に比べ、濃厚接触者やクラスターによる集団検査で感染が確認されるケースが多く、感染経路特定者の割合がワクチン未接種者に比べて高い。

ワクチン2回接種後14日以降（6月1日から11月14日）



ワクチン未接種（6月1日から11月14日）



新規陽性者と重症・死亡例のワクチン接種歴（令和3年11月14日判明時点）

- ◆ 6月以降の新規陽性者のうち、2回接種後14日以降に陽性となった者は2,870名であった。
2,870名のうち、重症化した者は29名、死亡に至った者は27名（重症例29名のうち、11名は死亡のため重複）。
- ◆ ワクチン接種歴別の重症・死亡の割合は、未接種者に比べ、2回接種後14日以降に陽性となった者の方が低かった。

年代別新規陽性者と重症・死亡例のワクチン接種歴（6/1から11/14判明分）

	新規陽性者数	2回接種後14日以降に発症					接種なし・不明					その他 (1回接種済または2回接種後14日未満や発症日等不明)				
		陽性者数【A】	重症【B】	重症者の割合【B/A】	死亡【C】	死亡者の割合【C/A】	陽性者数【D】	重症【E】	重症者の割合【E/D】	死亡【F】	死亡者の割合【F/D】	陽性者数【G】	重症【H】	重症者の割合【H/G】	死亡【I】	死亡者の割合【I/G】
20・30代	44,936	583	0	0.0%	0	0.0%	41,842	96	0.2%	4	0.0%	2,511	5	0.2%	1	0.0%
40・50代	27,145	795	1	0.1%	0	0.0%	23,136	519	2.2%	65	0.3%	3,214	55	1.7%	4	0.1%
60代以上	8,376	1,441	28	1.9%	27	1.9%	5,374	330	6.1%	261	4.9%	1,561	52	3.3%	51	3.3%
総計	103,193	2,870	29	1.0%	27	0.9%	92,639	949	1.0%	331	0.4%	7,684	112	1.5%	56	0.7%

※無症状病原体保有者は報道提供日-1日を発症日とした。

※ワクチン接種状況及び発症日は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（11月14日判明時点）

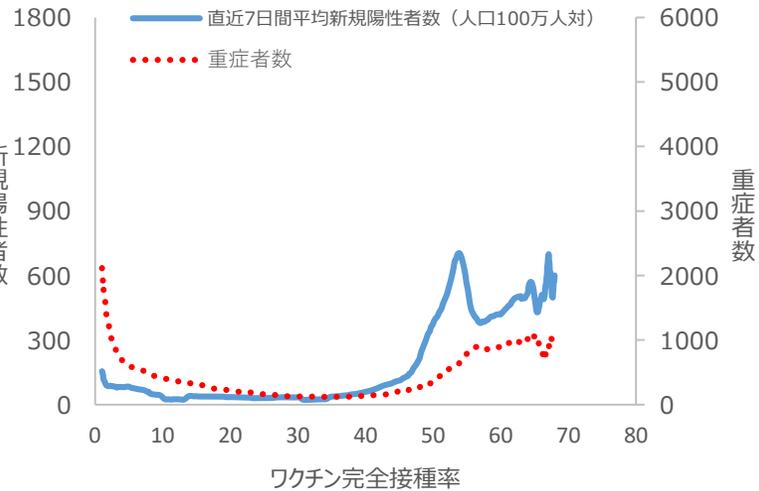
※重症率及び死亡率は陽性者数に占める重症者・死亡者の割合。割合は11月14日時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動。

【参考】諸外国のワクチン接種率と新規感染者数及び重症者数（11月22日時点で分析）

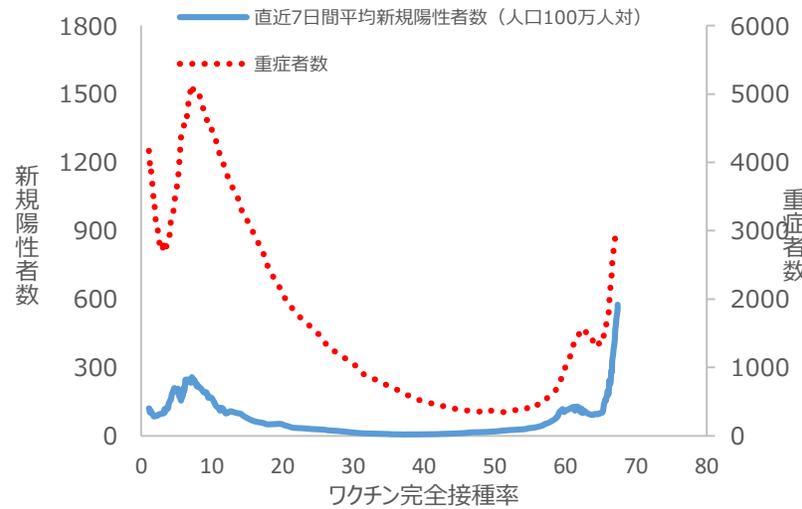
- ◆ ワクチン接種が進んでいる国において感染が拡大。感染拡大に伴い、重症者数が増加。
 - ・感染者数について、イギリスでは7月中旬以降、高止まりしており、ドイツは11月に入り、過去最多を記録。
 - ・一方、7月から9月中旬にかけて感染が拡大していたイスラエルでは、感染が収束。

※感染拡大の背景には、行動緩和やワクチンによる感染・発症予防効果の低減、気温の影響（寒さ）等の可能性が想定される。
 一方、収束の背景としては、行動の再規制や追加接種（3回目接種）等の可能性が想定される。

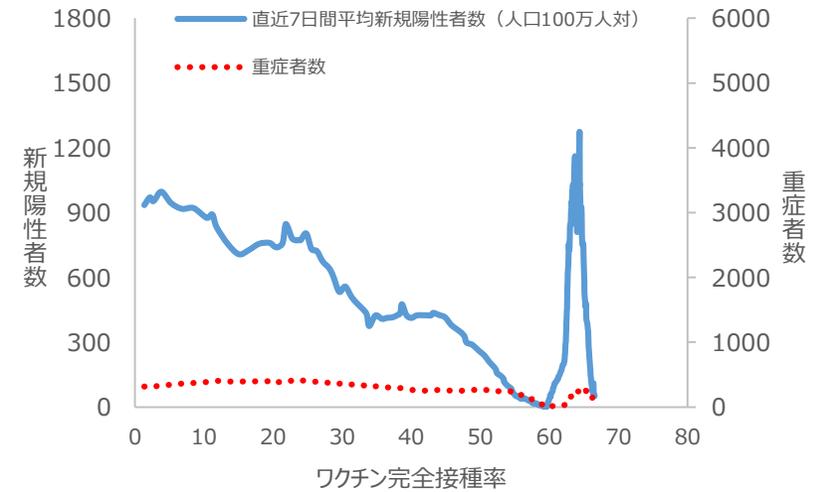
イギリス



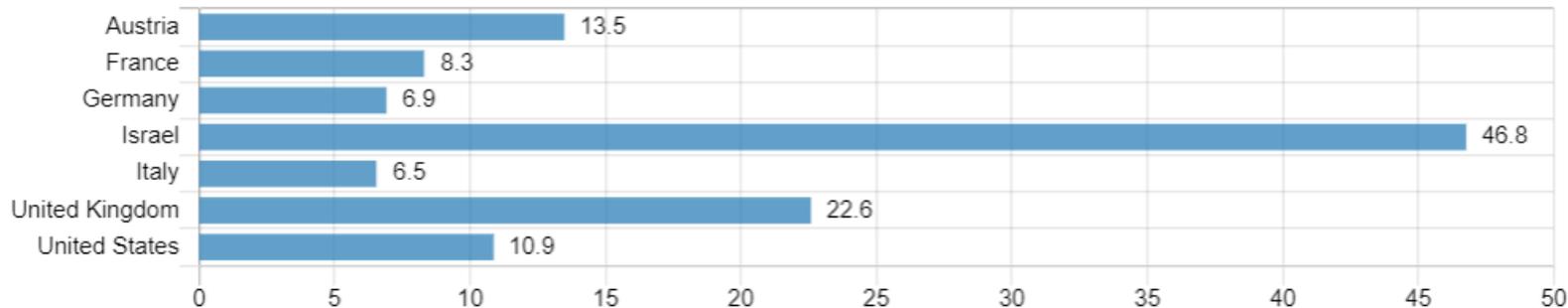
ドイツ



イスラエル

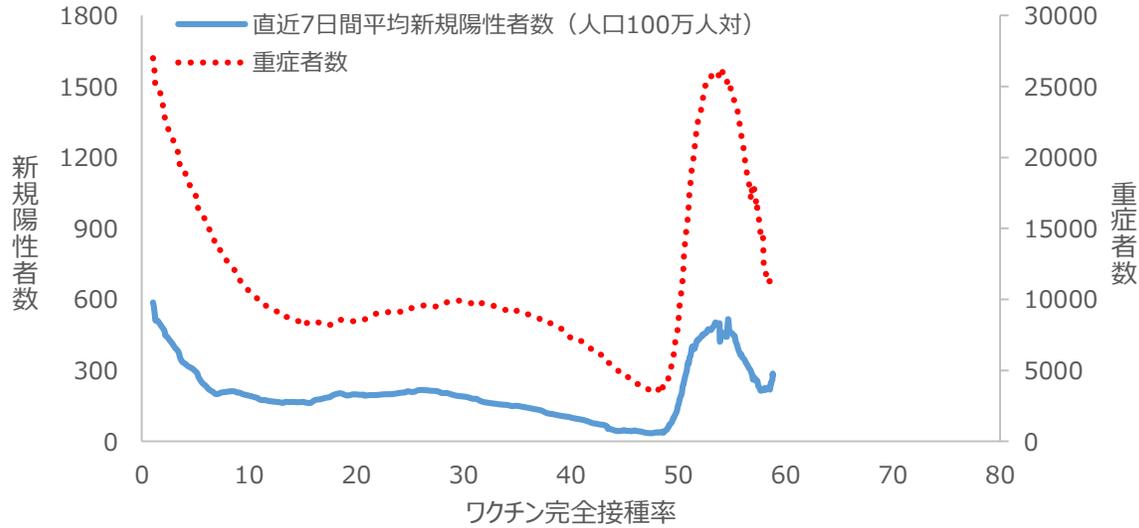


＜追加接種の状況（全人口に占めるワクチン追加接種者の割合 11/21時点）

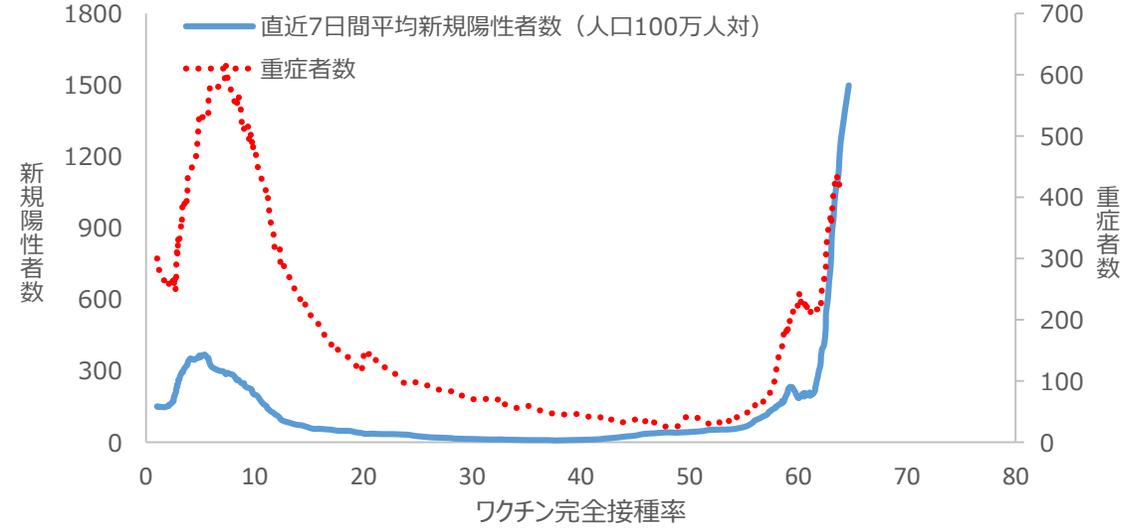


【参考】 諸外国のワクチン接種率と新規感染者数及び重症者数（11月22日時点で分析）

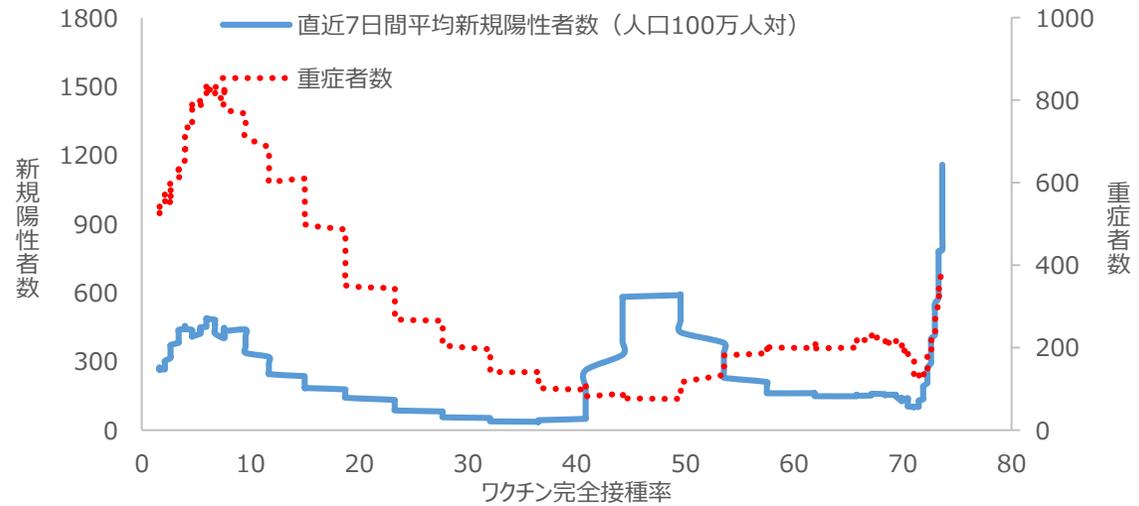
アメリカ



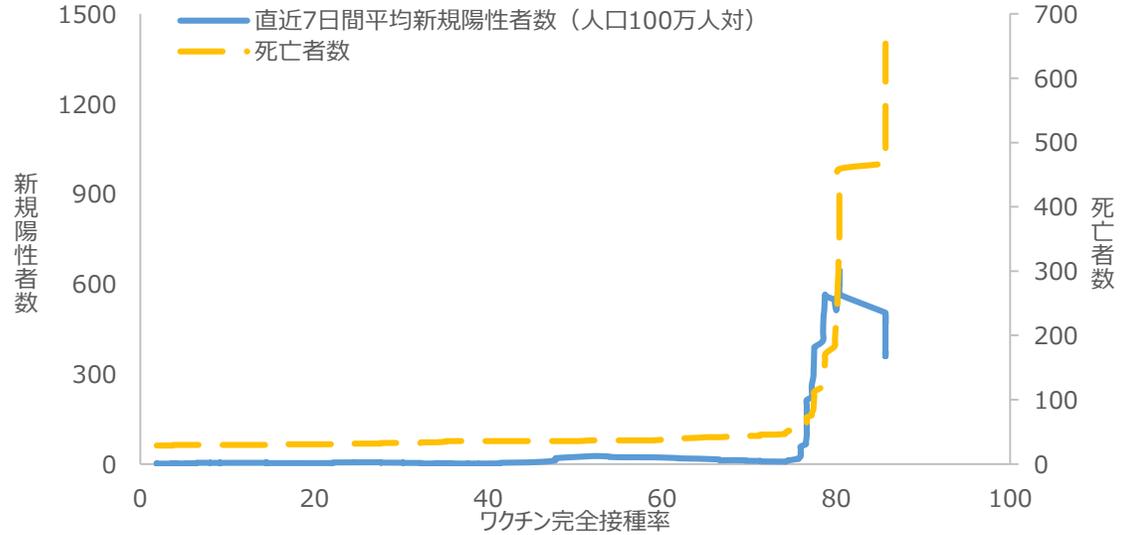
オーストリア



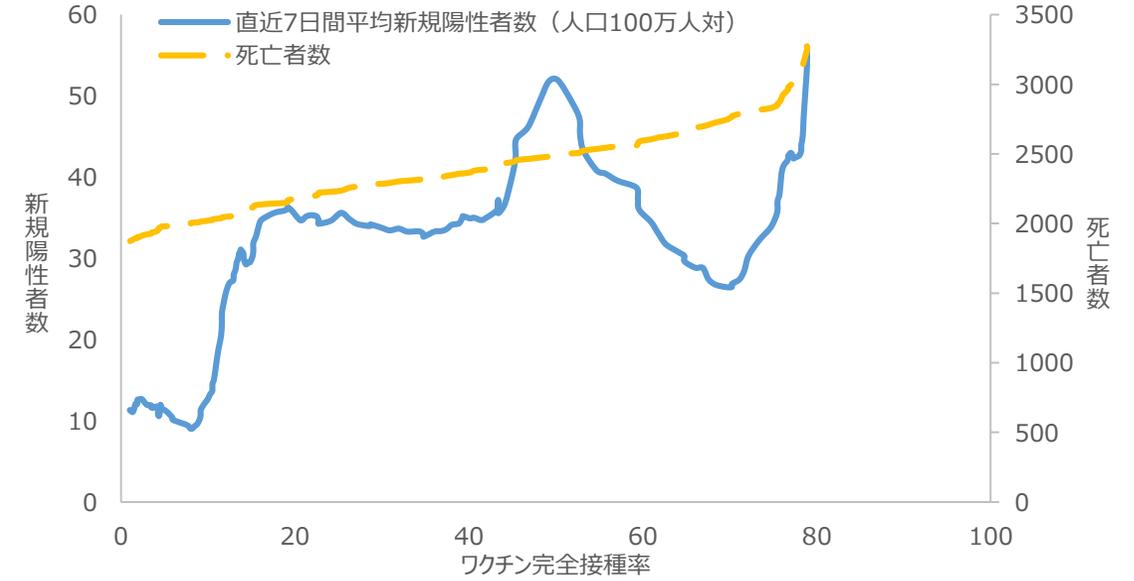
オランダ



シンガポール



韓国



※重症者数のデータなし